

# SEIGAIHA

NIIGATA SANGYO UNIVERSITY

新潟産業大学報 青海波 (せいがいは)

2012  
Vol.23

特集 地域と連携する 1  
～新潟産業大学における地域連携の取組み～

CAMPUS TOPICS 3

クラブ・サークル活動 5

図書館だより 6

キャリアサポート 7

BACK TO SCHOOL (生涯学習センター) 9

INFORMATION 10



「第38回北信越学生空手道選手権大会男子組手競技 決勝」(写真の説明は裏表紙)



新潟産業大学  
NIIGATA SANGYO UNIVERSITY

# 地域と連携する

## 新潟産業大学における

### 地域連携の取組み

大学には「教育の機能」「研究の機能」がありますが、それに加え最近では第3の機能として「社会貢献の機能」の重要性が強調されています。

平成17(2005)年1月に出版された中央教育審議会答申「わが国の高等教育の将来像」でも、「教育や研究それ自体が長期的観点からの社会貢献であ

るが、近年では、(中略)より直接的な貢献も求められるようになっており、こうした社会貢献の役割を、言わば大学の「第3の使命」としてとらえていくべき時代になってきているものと考えられる。」と述べられています。大学は、地域への貢献を通じて地域における存在価値、評価を高めることができます。また、地域を教育のフィールドとして活用することにより、特色

ある実践的、効果的な教育を行うことができず。大学自身が地域に支えられる存在であり、地域社会の活性化は大学の活性化のためにも必要といえます。さらに、大学の地域貢献への取組に対して地域が支援を行うことにより、双方が共に発展し地域全体の活力が向上する好循環が期待されます。

今回の特集では、本学が地域と連携して行っている活動を、

#### ○柏崎の個性・魅力づくり調査研究業務委託事業

柏崎市と地元2大学との連携の一環として、「大学・地域連携推進事業委託」に基づき、平成20年度から毎年様々な分野で調査研究の委託を受けています。

その成果発表として、「柏崎の個性・魅力づくり調査研究業務委託報告会」が毎年行われています。

今回本学からは、平成23年度受託事業「スポーツによるまちづくりを見据えた柏崎市における学校プールのあり方に関する研究」について経済学部 青柳 勸 助手が発表を行いました。



#### ○市民向け公開講座の実施(教養講座)

本学専任教員が、専門分野に基づいたテーマで開講する教養講座です。一つの講座は2回～5回で構成され、社会人が受講しやすい夜間や土曜日に開講しています。

テーマは、語学、統計、時事問題、料理と多岐にわたっていて、受講者の嗜好や知的好奇心に応じています。また、十日町市および上越市においても開講しています。

#### ○柏崎市教育センターと青少年育成センターが本学敷地内に移転

#### ○社会人水球チーム ブルボンウォーターポロクラブへの協力

#### ○柏崎市が地元大学進学者の学資の貸付に優先枠を設定

### 人づくり教育、文化及びスポーツの振興

#### ○ビジネスコンテスト「トオコン」に参加

「とおかまちの地域資源を活かした新ビジネス」をテーマに、学生の観点から実現化に向けた十日町のビジネスプランを提案するコンテスト「トオコン」に参加し、平成22年度はグランプリを獲得しました。



#### ○青少年国際経済人育成事業

国際ロータリー第2560地区からの寄付金を原資とし、地域社会と本学が協力して教育力を高め、日本文化を理解し、国際的視野を有する経済人を育成することにより地域の発展に寄与することを目的とした事業です。

①本学の学生および一般の方を対象とした海外(アメリカ・中国・韓国・台湾等)・国内研修助成事業



②本学の学生や市内の高校生を中心とした各国言語による詩の朗読会「ことばのひびき」の開催



③「地球くらぶ(国際教養体験講座)」の開催 本学の留学生が地域の小学校を訪問し、東アジアの言語や文化を紹介するイベント(各国のゲームやお菓子の試食等)を行っています。

#### ○新潟工科大学・新潟産業大学 学生による「柏崎に関する研究」

毎年2月に行われる『柏崎に関する研究』発表会(柏崎商工会議所主催)に参加しています。

平成23年度は、本学の経済・経営学系の若手教員の指導のもと、3つのグループが、大学生活を過ごしている柏崎をテーマにして、それぞれ異なった視点から研究した成果を発表しました。

- ・柏崎におけるEV普及政策の現状と課題(川本ゼミナール)
- ・産大生の行動の傾向—アンケートから判明・推察したこと—(ワーキンググループ八木班)
- ・柏崎の商店街～現状調査～(ワーキンググループ渡邊班)



#### ○柏崎市内の空き店舗活用事業

柏崎市から委託を受け、中心商店街の空き店舗を利用して、本学と新潟工科大学が協力して多くの市民・大学生を柏崎の中心市街地に呼び込み、商店街を活性化させ大学の魅力を発信しようという試みです。



### 地域の「知の拠点」としての取組・社会還元

#### ○学生と一緒に授業を聴講できる聴講講座を開設

一般の方々が、本学で開講している講義から興味のあるものを1科目単位で選び、学生達と席を並べ聴講する講座です。一つの科目につき、基本的に週1回同一の曜日時限(90分)で15週にわたり開講しています。

#### ○「かしわざき市民大学」「いきいき県民カレッジ」に講座を開設

柏崎市が主催して、柏崎の歴史・文化及び今日的テーマなど専門的で多様な学習プログラムを提供しています。市民の皆さんが、学ぶ喜び・楽しみ・生きがいを発見し、地域社会の活力につながるよう、本学は講師及び本講座の企画運営委員を派遣しています。

また本講座は、新潟県の「いきいき県民カレッジ」の登録講座となっています。

#### ○ボランティア活動

東日本大震災や豪雨被災地の現地ボランティアを初め、募金活動(平成23年度587,672円)、地域イベントのスタッフ等、様々な活動を行っています。



### 地域と本学を結ぶ交流

#### ○地域の小中学校・高校との交流

総合学習や児童クラブへの留学生の派遣による国際交流、本学教員の派遣や出張講義等を行っています。



### 地域の国際化の推進

#### ○学生が柏崎市の観光大使として活躍

柏崎観光協会からの委嘱を受けた平成24年度の柏崎観光親善大使に、本学の学生4名が選ばれました。

4名のうち2名は柏崎市出身で、生まれ育った地元の素晴らしさを存分にアピールし、あとの2名は中国からの留学生で、観光大使の任務とともに、中国での観光PRの際に日頃の留学の成果を活かし通訳の役割も担うことが期待されています。



#### ○学識経験者として柏崎市から様々な委員の委嘱

柏崎市行政改革推進委員/柏崎市公共事業再評価委員/柏崎市介護サービス事業者選定委員/柏崎市福祉有償運送運営協議会委員/柏崎市小学校社会科副読本監修委員/柏崎市人権教育・啓発基本計画策定委員/柏崎市第四次総合計画後期基本計画策定に伴う市民会議委員/柏崎市元気なまちづくり事業補助金審査員/柏崎市公益通報等審査委員/柏崎市情報公開・個人情報保護審査会委員/柏崎市男女共同参画審議会委員/柏崎市中越沖地震復興祈念事業実行委員/柏崎市職員倫理審査会委員/柏崎市文化財保護審議会委員/「かしわざき市民大学」企画運営委員/柏崎市廃棄物減量等推進審議会委員/柏崎市バイオマス利活用推進協議会委員/柏崎市奨学金貸付選考委員/かしわざき健康みらいプロジェクト推進委員/柏崎市介護サービス事業者選定委員/柏崎市介護保険運営協議会委員/柏崎市環境審議会委員/柏崎市都市計画審議会委員/柏崎市スポーツ振興審議会委員 (平成23年度実績)

#### ○地域のコミセンとの交流

地域のコミュニティセンター事業に学生が参加しています。また平成23年度には、柏崎市高田地区コミュニティセンターの皆さまにご協力いただき、新年行事として学内で餅つき大会を開催しました。



#### ○2大学合同歓迎会

柏崎市民有志の方々が市内の2大学に入学した新入生を歓迎する行事として定着しました。温かいご支援に感謝申し上げます。



#### ○大学施設の地域への開放

地域の団体等に、体育館、グラウンド、テニスコート、講堂、教室、駐車場等、本学施設の開放を行っています。年間約7500人の利用があります。



「柏崎の個性・魅力づくり」  
調査研究業務委託報告  
会」で発表

柏崎市による「大学・地域連携推進事業委託」に基づき、5月18日（金）、柏崎市役所4階大会議室において「柏崎の個性・魅力づくり調査研究業務委託報告会」が開催されました。



これは、柏崎市と地元二大（新潟産業大学、新潟工科大学）との連携の一環として、毎年様々な分野で調査研究の委託を受けているものです。

本学からは、平成23年度受託事業「スポーツによるまちづくりを見据えた柏崎市における学校プールのあり方に関する研究」について経済学部 青柳 勤助手が発表を行いました。

プロ水球選手として海外を拠点に活動した経験を生かした今回の調査研究では、海外では学校の水泳授業は公共・共用のプールで行うことが標準であることに対し、日本では学校プールの普及率は昭和30年代の国策もあって世界でも類を見ない高い水準となっている状況下、現在その施設の老朽化による弊害（建て替えやメンテナンス

スの必要性 が今後学校設置者である地方自治体の財政を圧迫する問題が顕在化していることに着目しました。

これについて、柏崎アクアパークの平日午前における利用者数の統計と、水泳の平均授業時間の統計および他県の授業集中化の事例を紹介しながら、公共プールを活用した海外型の水泳授業の運営方法を提言し、この問題の解決の方策を探る報告を行いました。

「まちかど研究室」が  
始動しました

新潟産業大学と新潟工科大学は、柏崎市との大学・地域連携推進事業委託（魅力発信事業）の一環として、平成24年度は「空き店舗活用事業」を受託しました。

これは柏崎市の中心商店街の空き店舗を利用し、本学と新潟工科大学が協力して、ひとりでも多くの市民・大学生を柏崎の中心市街地に呼び込み、商店街を活性化させようとい



うものです。学生たちは、この空き店舗を「まちかど研究室」と命名しました。

今、学生たちは、自身で考え、アイデアを出し合い、そして様々な企画を計画中です。まずプレイベントとして、柏崎の名物行事「えんま市」の期間中、今後の活動拠点となる「まちかど研究室」を「休憩所」として一般に開放しました。えんま市は6月14日〜16日まで開催され500軒以上の露店と20万人以上の見物客で賑わう柏崎の一大行事です。

3日間にこの空き店舗を訪れた市民の方々や学生は、360人余り。訪れていただいたみなさんには、ここで学生たちに「何をしてほしいか」のアンケートをお願いしました。この回答は今後のいろいろな活動・企画の検討資料とさせていただきます。学生たちの今後の活動にご注目下さい!!



空手道部 北信越大会で  
優勝・準優勝!

5月20日(日)本学体育館で行われた第38回北信越学生空手道選手権大会男子組手競技において、梅川達矢さん（経済学部4年）が見事優勝、小林匠さん（経済学部4年）が準優勝を飾りました。

地元開催のアドバンテージを感じるよりも、主管校として大会を運営する責任感やプレッシャーがありました。準備や庶務等に時間が割かれる状況と向き合いながら、池田政道（経済学部3年）さんを加えた本学空手道部3名は最高の形で日頃の成果を表してくれました。



2人は第56回全日本学生空手道選手権大会（7月1日大阪・舞洲アリーナ開催）に出場します。

【梅川さんのコメント】

「昨年の大会に引き続き今回も優勝できて良かったです。7月に開催される全国大会に向けて、時間を無駄にせず日々の練習に全力を注ぎたいです。大会では悔いの残らないように持てる力を発揮し完全燃焼したいと思います。」

【小林さんのコメント】

「今回は主管校として大会準備をしながらの出場だったので、当日のコンディションは今までになく絶不調でしたが、結果は過去最高となり、思い出に残る大会となりました。このあとインカレへ出場しますが、勝つ気持ちがある、とプレッシャーとなるので、平常心で「負けない」という意識で挑みたいですね。」

水球日本代表に本学から  
2名の学生が選出される

5月8日(火)〜10日(木)、千葉県国際総合水泳場で開催された「FINA Water Polo World League 2012 ASIA-OCEANIA Preliminary Round」FINA水球ワールドリーグ2012アジア・オセアニアラウンド（主催：FINA（国際水泳連盟）、主管：財団法人日本水泳連盟、干

本学学生が観光親善大使  
として活躍します

この度、柏崎観光協会からの委嘱による柏崎観光親善大使に、本学の学生が選ばれました。

今回委嘱を受けたのは、以下4名の皆さんです。

- 池島英里さん  
（経済学部経済経営学科4年）
- 山後亜理沙さん  
（経済学部文化経済学科4年）
- 通力 嚙さん  
（経済学部経済経営学科3年）
- 梁月蒙さん  
（経済学部経済経営学科3年）

葉県水泳連盟 に出場する日本代表に、本学から棚村英行さん（文化経済学科3年）、小出未来さん（文化経済学科2年）の2名が選出されました。

棚村さんはゴールキーパーとして好セーブを連発、小出さんも中国戦で得点を挙げました。

今後も2人は水球日本代表として大いに活躍してくれることでしょう!

4名の皆さんは柏崎観光親善大使として、本学が立地する柏崎市の観光を広くPRするため、今後一年間様々な観光キャンペーンやイベントに参加することになります。

中国からの留学生、通力嚙さんと梁月蒙さんは、5月に柏崎地域観光復興推進協議会の事業の一環として、柏崎と関係の深い江蘇省淮安市淮安區へ行き、7月26日に柏崎市で開催される「海の大火花大会」の観光PRを行いました。

その際には、観光大使の任務とともに、通訳の役割も担って大活躍しました。

また、池島さんと山後さんは、6月3日(日)に新潟駅一糸魚川駅

柏崎市の教育センターと  
青少年育成センターが本  
学に移転

市内若葉町に開設されていた柏崎市立教育センターと青少年育成センターが、4月1日に新潟産業大学キャンパス内に移転しました。

静かで自然環境に恵まれた本学のキャンパスで、柏崎市内の教職員の研修と児童・生徒・保護者の教育相談等、一層の教育支援の充実と、本学教職課程との連携が期待されています。



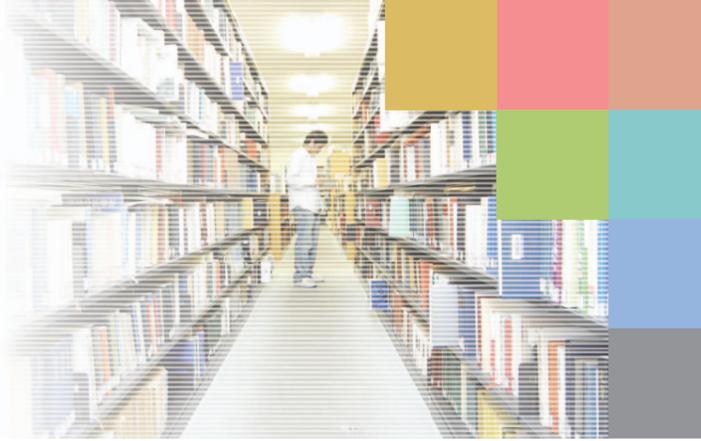
写真左から小出さん、棚村さん、青柳監督（水球部）

間で運行された「うまさぎつしり日本海縦断号」に乗車し、約70名のお客様に柏崎名物「鯛めし」をふるまひ、観光PRしました。

数々の貴重な経験が皆さんのキャリアにプラスとなるよう応援しています!



# 図書館だより



# クラブ・サークル活動



■平成23年度 公認部大会成績一覧表

クラブ名	大会名	部門・種目および大会出場者名(学年)	成績
空手道部	第19回北信越学生空手道選手権大会新人戦(12月)	個人男子組手 梅川達矢(経3)	優勝
		小林匠(経3)	準優勝
	第56回全日本大学空手道選手権大会(9月)	団体男子組手 梅川達矢(経3) 小林匠(経3) 池田政道(経2)	出場
卓球部	第59回春季北信越学生卓球選手権大会(5月)	男子シングルス 周陳忱(経3)	ベスト16
		男子ダブルス 丸山誠(経4)・周陳忱(経3)・親松涼(経4)・清水大輔(経2)	出場
		男子団体 丸山誠(経4)・親松涼(経4)・周陳忱(経3)・清水大輔(経2)	出場
	第59回秋季北信越学生卓球選手権大会(11月)	男子シングルス 丸山誠(経4)・親松涼(経4)・鄭然(経3)・清水大輔(経2)	ベスト32
		男子ダブルス 丸山誠(経4)・周陳忱(経3)・鄭然(経3)・清水大輔(経2)	出場
		男子団体 丸山誠(経4)・親松涼(経4)・周陳忱(経3)・清水大輔(経2)	出場
水泳部 男子(水球部門)	2011年度関東学生水球リーグ戦(6~8月)	秋元恵臣(経4)・野一色健太(経4)・屋富裕連郎(経4)・田中翔史朗(経3)・金城徹大(経3)・斎藤渉(経3)・鈴木雄也(経2)・清水涼太(経2)・柴原吉輝(経2)・米田航(経2)・木村栄記(経1)・島田連矢(経1)・二野下浩之(経1)・仁添敬介(経1)・永田三四郎(経1)・林和希(経1)・山田翔太(経1)・船橋佑(経1)・宮内悠(経1)・松井大樹(経1)	1部7位
	第20回中部学生水球選手権大会兼日本学生選手権大会予選(8月)	秋元恵臣(経4)・野一色健太(経4)・屋富裕連郎(経4)・金城徹大(経3)・清水涼太(経2)・二野下浩之(経1)・仁添敬介(経1)・永田三四郎(経1)・林和希(経1)・山田翔太(経1)・船橋佑(経1)・宮内悠(経1)	優勝
	第87回日本学生選手権水球競技大会(インカレ)【水球競技】(9月)	秋元恵臣(経4)・野一色健太(経4)・屋富裕連郎(経4)・田中翔史朗(経3)・金城徹大(経3)・斎藤渉(経3)・鈴木雄也(経2)・清水涼太(経2)・柴原吉輝(経2)・米田航(経2)・木村栄記(経1)・島田連矢(経1)・仁添敬介(経1)・林和希(経1)・松井大樹(経1)	出場
	Water Polo Japan Challenge 2011予選(9月)	(チーム:新潟産業大学) 野一色健太(経4)・金城徹大(経3)・斎藤渉(経3)・田中翔史朗(経3)・鈴木雄也(経2)・清水涼太(経2)・柴原吉輝(経2)・米田航(経2)・木村栄記(経1)・島田連矢(経1)・仁添敬介(経1)・林和希(経1)・松井大樹(経1)	出場
水泳部 女子(水球部門)	第15回東日本水球リーグ戦(5月)兼全国女子東日本地区予選	(チーム:燐水会) 秋元恵臣(経4)・屋富裕連郎(経4)・永田三四郎(経1)・二野下浩之(経1)・山田翔太(経1)・船橋佑(経1)・宮内悠(経1)	2部5位
	第87回日本学生選手権水球競技大会(9月)	岸野典子(経4)・水科彩香(経4)・吉田雅美(経2)・前原みどり(経1)・小出未来(経1)・池田桜子(経1)・船橋美優(経1)・村井愛美(経1)	出場
	Water Polo Japan Challenge 2011女子(10月)	同上	出場
軟式野球部	第34回新潟県軟式野球春季大会兼全国大会予選(8~11月)	渡辺拓也(経4)・難波健太郎(経4)・酒井慎司(経4)・原裕貴(経3)・長村一至(経3)・武居直人(経3)・石川大地(経2)・星野徹(経2)・井野結生(経2)・上村祐貴(経2)・大塚隼也(経2)・今井俊介(経2)・真島健斗(経2)・星野大二郎(経2)・岩沢昂太(経1)・関原晋吾(経1)・古家拓海(経1)・和田優吾(経1)	Bリーグ5位
		同上	同上
テニス部	柏崎市長杯テニス大会(10月)	シングルス 内山貴大(経2)・酒井裕貴(経1)・行田拓平(経1)	出場
男子バレーボール部	第56回新潟日報杯争奪柏崎バレーボール選手権大会(8月)	山田達也(経4)・高橋仁志(経4)・江向拓太(経4)・小柳慎太郎(経4)・松田直也(経3)・相澤尚哉(経2)・渡辺海介(経1)	出場
ライフセービング部	第2回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会(2月)	50m マネキンキャリー 大野翔平(経2)・大滝雄一郎(経2)	出場
		100m マネキンキャリー・ウイズ・フィン 安澤勇次(経3)・小山博紀(経2)	出場
		ラインスロー 大野翔平(経2)・小山博紀(経2)	出場

クラブ名	大会名	部門・種目および大会出場者名(学年)	成績		
ライフセービング部	第24回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会(5月)	50m マネキンキャリー 大野翔平(経2)・大滝雄一郎(経2)	出場		
		100m マネキンキャリー・ウイズ・フィン 安澤勇次(経3)・小山博紀(経2)	出場		
		100m マネキンキャリー・ウイズ・フィン 安澤勇次(経3)	出場		
		SERC 安澤勇次(経2)・大滝雄一郎(経1)	9位		
		ラインスロー 小山博紀(経2)・大滝雄一郎(経2)	出場		
	第26回全日本学生ライフセービング選手権大会(9月)	4x50m 障害物リレー 大野翔平(経2)・他学外者3名	優勝		
		4x50m メドレーリレー 大野翔平(経2)・他学外者3名	7位		
		サーフレース 大野翔平(経2)・三井田誠(経2)	出場		
		ボードリレー 安澤勇次(経3)・小山博樹(経2)・今井俊介(経2)	出場		
		ボードレスキュー 小山博樹(経2)・今井俊介(経2)	出場		
バスケットボール部	新潟県学生連盟バスケットボール県内強化リーグ(6月)	仙田治(経4)・相田優樹(経4)・西川和宏(経4)・山口聡一(経4)・渡辺俊(経3)	出場		
		バヨ吉呼嚶(バトジフラン)(経3)	8位		
		烏摩其(ウニチ)(経4)	9位		
		華力格闘(ピリグト)(経4)	18位		
		アララ島拉(アラランワラ)(経4)・韓黎明(カンレイメイ)(経3)・藤達連力格(ソドリグ) (経2)・他	出場		
	モンゴル相撲部	東京アプクラブモンゴル相撲大会(10月)	男子個人	出場	
		ゴルフ部	第14回新潟県知事杯新潟県ゴルフ選手権(5月)	個人	佐藤由香利(経3)
			第56回国体選手権大会第11回日本スポーツマスターズ選手権大会(6月)	個人	佐藤由香利(経3)
			第49回関東女子学生ゴルフ選手権予選会(7月)	個人	大淵芳森(経2)
			第14回関東女子学生アマチュアゴルフ選手権(7月)	個人	大淵芳森(経2)
アーチェリー部	第14回新潟県知事杯新潟県ゴルフ選手権(5月)	個人	大淵芳森(経2)		
	第59回新潟県学生ゴルフ選手権予選会(6月)	個人	大淵芳森(経2)		
	第37回新潟県アマチュアゴルフ選手権予選(7月)	個人	大淵芳森(経2)		
	第7回新潟県NGAゴルフ競技会(9月)	個人	大淵芳森(経2)		
	第66回国体新潟県1次予選アーチェリー大会(5月)	リカーブ・成年男子	6位		
第66回国体新潟県2次予選アーチェリー大会(6月)	リカーブ・男子個人	8位			
第66回国体新潟県3次予選アーチェリー大会(7月)	リカーブ・男子個人	4位			
第66回国体新潟県4次予選アーチェリー大会(7月)	リカーブ・成年男子	9位			
第31回北信越学生アーチェリー個人選手権決勝ラウンド(8月)	リカーブ・成年男子	7位			

**小さな司書が職場体験**  
 柏崎市立第二中学校の生徒のみならず、図書館で職場体験を行いました。本の登録、整理など、図書館の仕事はどうでしたか？本に携わる仕事に興味をもっていただければ、嬉しいですね。



**iPad2が好評です**  
 本学図書館では、昨年2台のiPad2を導入しました。スマートフォンを使いこなす世代であるため、ファンが増えています。特に、一年生の利用者が急増しています。手軽にインターネットが繋がります、楽しいアプリもある、パソコンより使い易いのも知れませんが、iPad2は使いがた次第で、たくさんの可能性が広がります。今後、電子書籍や雑誌・新聞のデジタル版など、図書館ならではの充実したデジタルコンテンツを導入予定です。



職場体験、本の登録作業は・・・



資格取得、就活の本も取り揃えています

**資格取得を支援しています。関連書籍をぜひご利用ください。**  
 在学中に資格を取得するのは、社会に出てから大きな力になります。図書館では、資格取得コーナーの設置や、関連図書の見本をするなどして、利用促進に力を入れています。また、教職課程や学芸員・就活に役立つ本など、キャリアアップ関係の本も併せて取り揃えています。ぜひ、手に取ってみてください。

**本学教員の本が出版されました！**  
**興福寺** 片岡 直樹 (図書館長・経済学部教授)  
 「興福寺—美術史研究のあゆみ—」  
 単行本：381p  
 出版社/里文出版  
 発売日/2011.11.9



男性誌



女性誌

**雑誌を充実させています**  
 授業の合間の休憩時、雑誌などができでしょうか？  
 経済・経営に関連した学術誌はもちろんのこと、手軽に読める雑誌もたくさん揃えています。男性誌・女性誌どちらも種類が豊富です。また、新潟の情報誌も揃えており、学生にはとても人気です。お気軽にお立ち寄りください。



新潟産業大学 附属図書館  
 0257-24-8435  
 E-mail library@ada.nsu.ac.jp

**一般の方も本学図書館をご利用いただけます。**  
 学外の方も、図書館をご利用いただけます。  
 来館の際は、カウンターで利用票にご記入いただき、ネームプレートをご用意いたします。  
 ・館内では、職員の指示に従ってください。  
 ・閲覧は、基本的に自由です。  
 ・蔵書の貸出は次のとおりです。  
 ●対象  
 15歳以上(中学生は除く)の柏崎市内在住・在勤の方  
 ●貸出冊数：3冊以内  
 ●貸出期間：2週間以内  
 ●その他/初めて利用される方は、住所・氏名を確認できるもの(免許証・健康保険証など)をご用意ください。  
 ご不明な点は、お気軽に左記までお問い合わせください。

# キャリアサポート

## 平成23年度の就職状況

昨年度の就職環境は、①経団連の「採用選考に関する企業の倫理憲章」変更による採用スケジュールの大きな変化や、②就職活動序盤で発生した東北大震災の影響により、非常に混沌とした厳しいものになりました。①・②の詳細については後述しますが、このような環境下にあっても本学学生は忍耐強く就職活動に取り組み、下表のとおり全国平均を上回る就職率93・9%を達成することができました。

①「採用選考に関する企業の倫理憲章」変更による影響  
経団連では、正常な学校教育と学習環境の確保、採用選考活動の早期開始自粛等を目的に、採用広報の開始時期（企業が採用に関する個人情報取得を行うこと）を従来より2カ月先送りし12月1日以降に変更しました。しかし、採用選考の開始時期は従来と変わらず原則4月としたため、学生にとっては企業理解を深める期間が短縮されたため、明確な志望を持っていないまま選考に臨む学生が増加し、内定する学生とそうでない学生の二極化がより明確となりました。

②東日本大震災の影響  
3月に発生した東日本大震災は、被災学生への配慮から大手企業を中心に選考開始時期を当初予定の4月から1カ月〜2カ月間遅らせるなど、就職・採用活動に、大きな影響を与えました。また、新潟県内の中小企業においても採用計画に対し慎重な姿勢を見せる企業も増え、全体的に長期化傾向となりました。被災学生だけでなく一般の学生においても大きなストレスとなりました。



## 新潟産業大学の資格等取得支援

### 学びの入り口 付加価値づくり

新潟産業大学は、学生にとって学びへの一つの入り口となるように、そして学生に付加価値をつけてもらうために、資格等取得支援を重視しています。

今年度も、資格等取得支援講座を開講し（下表）、意欲ある学生を応援しています。この講座の他にも、学外講師による証券外務員2種、ファイナンシャルプランナー3級、ビジネス実務法務3級、宅建主任者などの資格取得勉強会を開いています。



経営学検定対策講座



TOEIC 受験対策講座

### 就職につながる資格取得

資格を持っているということは、資格を取るために自ら進んで勉強したということです。自分で勉強を計画し実践し成功した証明です。自分で選んで勉強した経験は、就職活動での自信にもつながります。

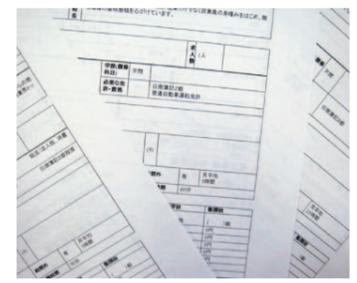
応募したい求人があっても、資格を持っていないために、あきらめる学生は毎年います。こんな残念なことにならないように、在学中に資格を取っておく必要があります。

ところで、資格なら何でも就職に結びつくというわけではありません。なりたい職業、進みたい業界によって役立つ資格は異なります。例えば、学生に人気がある事務の仕事の場合、日商簿記2級+コンピュータの資格をお勧めします。簿記が会計事務の仕事



簿記検定3級対策講座

に役立つことは言うまでもありませんし、現代のオフィスではコンピュータは必要不可欠なものです。ただ「パソコンができません」という人より、パソコンをどの程度使いこなせるか、一目でわかる人の方が有利です。また、高校時代に全商簿記の資格を取った学生もいますが、企業が求める資格は日商簿記です。数年前から、金融機関や事務系職種の人材に、日商簿記2級が応募条件となるケースが多くなりました。



必要な資格が多いのが普通自動車免許と日商簿記

## 主な就職先

製造業	金井度量衡(株) 協和(株) 近藤助工業(株) (株)近正 長野大信工業(株) (株)羽賀研工業 (株)橋本工作所 見附染工(株)
建設業	家'Sハセガワ(株) (有)金虎組 (株)ナルサワコンサルタント
運輸業	荒牧運送(株) カルガモ引越センター(株) 新潟運輸(株) 日本通運(株)
卸売業	(株)アールエスアップル 柏印柏崎青果(株) 昭和電機産業(株) (株)スズキ自販新潟 (株)新潟エヌターエヌ (株)新潟日報サービス ネット ヒモリ国際貿易(株) 源川医科器械(株)
小売業	(株)川内自動車 (株)ジャパンマジネーション (株)星光堂薬局 (株)テレパーク (株)ドン・キホーテ 新潟トヨペット(株) 新潟日産モーター(株)
金融業	丸福証券(株)
複合サービス	えちご上越農業協同組合
情報通信業	エスジー・スタッフ(株) 関越ソフトウェア(株) (株)創風システム
飲食・宿泊業	(株)本陣リゾート (株)ピーコック
医療・福祉	介護老人保健施設さつき荘 (福) 柏崎刈羽ミニコロニー松波の里 (医) 恵生会南浜病院 (株)さくら介護サービス (株)やさしい手 (社) 福) 吉田福祉会
サービス業	(株)イマージュ (株)エヌ・ティ・ティ・ソルコ コーエイ(株) コヤマホームサービス (株)シリウス 新進テック(株) (株)スポーツアカデミー (株)スポーツフォーラムシーマックス (株)新潟関屋自動車学校 (株)セントラル 藤和興産(株) 新潟総合警備保障(株) ヒューカラス(株) 分水商工会
公務	長岡市 新潟県警察
進学	上越教育大学大学院 新潟産業大学大学院 兵庫教育大学大学院

## 本学の就職状況と全国との比較

平成24年4月1日現在

	平成24年3月卒(23年度)			
	男子	女子	計	
新潟産業大学	就職率	94.0%	93.8%	93.9%
	就職希望率	68.5%	80.0%	71.0%
	上場就職率	6.7%	0.0%	5.1%
全国四年制大学	就職率	94.5%	92.6%	93.6%
	就職希望率	61.8%	78.8%	68.9%
国公立大学	就職率	96.0%	94.8%	95.4%
	就職希望率	44.3%	69.8%	54.2%
私立大学	就職率	93.9%	91.7%	92.9%
	就職希望率	71.1%	82.8%	76.2%
専修学校	就職率	91.6%	94.8%	93.2%
	就職希望率	88.1%	86.2%	87.1%

注：全国四年制大学および専修学校のデータは、文部科学省・厚生労働省共同調査（H24.5.15発表）。  
注：就職率=就職者数÷就職希望者数  
注：就職希望率=就職希望者数÷卒業者数  
注：外国人留学生を除く

## 資格等取得奨励制度について

新潟産業大学では、資格を取得したり語学検定に合格した学生に対し、種別により2万円または1万円の奨学金を給付し、更に上位の資格取得に挑戦できるように支援しています。（詳しくは、4月の履修登録時に配布した「NSU navi 2012 学生生活の手引き」をご参照ください。）また、本学で開講している講座以外の資格も奨学金の対象としています。

## 資格等取得支援講座

一人勉強ではなかなか合格レベルに達しない、気持ちが続かないということをよく耳にすることです。それを乗り越えるための資格等取得支援講座です。毎週決まった時間に勉強することで、リズムが作れます。自分一人では気がつかなかった弱点も把握でき効率良く勉強が進みます。講座の日程は、それぞれの資格検定の試験日に合わせて設定してありますので、仲間と情報交換をしたり励まし合っていて、合格を目指すことができます。

学生食堂前のロビーと就職課前に資格検定関係専用の掲示板があります。資格等取得支援講座の紹介や受講者募集とともに、資格試験



学生食堂前の資格取得専用掲示板

## 資格取得支援講座一覧

講座名	実施日程	備考
TOEIC 受験対策講座	春学期のみ実施	全学年対象
日商簿記3級対策講座	第1期春学期 第2期秋学期 第3期春休み	2年生以上対象 全学年対象 全学年対象
経営学検定対策講座	春学期・秋学期	2年生以上対象
マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS)	年4回実施 (不定期)	全学年対象
販売士検定対策講座	春学期	全学年対象
ERE 経済学検定対策講座	秋学期	全学年対象
訪問介護員2級講座	夏休み	全学年対象

# Back to School (生涯学習センター)

## 聴講講座

聴講講座は、学生と一緒に通常講義に参加する講座です。単位認定は行いませんが、四分の三以上出席の方には、修了証を発行します。春期は、20の講座に延べ50名の一般市民の方々が参加いただきました。今年度は、6時間目の時間帯の18時30分から20時までの夜間講座を開講し、さらに多くの市民の方々が参加しやすい試みを実施してまいります。



## 市民大学講座

かしわざき市民大学前期講座は、本学の教員が担当する3つの講座(4回ずつ)、「日本美術史講座」「平安鎌倉時代の仏像」「片岡教授」「現代アメリカ事情」「星野教授」「私たちの生活とマーケティング」(渡邊助教)に、計92名が登録し、市民大学運営委員等を加えると百名近くの方々が学びの楽しみを味わいました。後期にも本学教員が出演しますので、ご期待ください。



## 公開講座

春学期は、直江津学びの交流館を会場に、「映画に見る水の都。ベネツィア」の風景(梅比良教授)、「日本を巡る朝鮮半島・ロシア・中国情勢」(蓮池講師他)、「日記、古記録資料にみる日本史」(小林准教授)を各々3回シリーズで行いました。秋学期には藤井客員教授、古川客員教授の無料公開講座を9月と11月に企画しています。また、堀井真吾客員教授による朗読講座を10月に実施する予定です。



## 平成24年度 新潟産業大学 秋期 聴講講座のご案内

秋期の聴講講座は9月21日(金)から始まります。1週間に1回90分授業、全15回で1科目8,000円です。授業時間は1限9:15~10:45、2限10:55~12:25、3限13:15~14:45、4限14:55~16:25、5限16:30~18:00、6限18:30~20:00です。初回2回目は無料聴講期間です。有料聴講期間の3日前が申込締切日です。履修人数などの都合で開講しないことがあります。

開始日	講座名	曜日・時限	教員名	教科書の有無
1 9月24日	生活と統計Ⅱ	月・1	橋本 次郎	有
2 9月24日	民法B	月・3	山崎 修	有
3 9月24日	東アジア交流史	月・4	金 光林	無
4 9月24日	韓国語入門Ⅱ	月・6	蓮池 薫	有
5 9月25日	アジアの観光資源	火・1	金 光林	無
6 9月25日	韓国語ⅠB	火・2	金 光林	有
7 9月25日	中国語ⅠB	火・2	詹 秀娟	有
8 9月25日	農業関連産業論	火・2	片桐 民生	無
9 9月25日	中国語演習Ⅱ	火・3	詹 秀娟	有
10 9月25日	環境科学	火・4	アブドゲニ アブドレヒミ	有
11 9月25日	初級ミクロ経済学	火・6	八木 直人	無
12 9月25日	数学入門	火・6	堀口 俊二	有
13 9月25日	韓国語と韓国文化への理解Ⅱ	火・6	金 光林	無
14 9月26日	中国語ⅡB	水・1	詹 秀娟	有
15 9月26日	韓国語ⅡB	水・1	蓮池 薫	有
16 9月26日	商学総論	水・2	菊地 慎二	無
17 9月26日	資源経済論	水・2	阿部 雅明	有
18 9月26日	韓国語会話B	水・3	金 光林	有
19 9月26日	日本の災害と文化論Ⅱ	水・6	小林 健彦	無

開始日	講座名	曜日・時限	教員名	教科書の有無
20 9月27日	デジタルコンテンツ産業	木・2	梅比良 眞史	有
21 9月27日	地域振興論	木・2	渡邊 孝一郎	無
22 9月27日	社会学	木・3	梅澤 精	無
23 9月27日	韓国語演習Ⅱ	木・3	蓮池 薫	有
24 9月27日	中国語会話B	木・3	詹 秀娟	有
25 9月27日	韓国事情	木・4	蓮池 薫	無
26 9月27日	欧米文化論	木・4	梅比良 眞史	有
27 9月27日	青年心理学	木・4	岡田 奈緒子	無
28 9月27日	自然地理学Ⅱ	木・5	佐藤 芳徳	無
29 9月27日	ビジネス&生活英語Ⅱ	木・6	星野 三喜夫	有
30 9月27日	映画史Ⅱ	木・6	梅比良 眞史	有
31 9月21日	サブカルチャー論	金・1	梅比良 眞史	有
32 9月21日	起業論	金・1	権 五景	無
33 9月21日	非営利組織論	金・2	池井 豊	有
34 9月21日	東洋の芸術	金・2	片岡 直樹	無
35 9月21日	日本の伝統芸能	金・3	三井田 忠明	無
36 9月21日	事例で学ぶマーケティング論Ⅱ	金・6	渡邊 孝一郎	有
37 9月21日	東洋の芸術	金・6	片岡 直樹	無
38 9月22日	モンゴル語Ⅱ	土・3	ウリジバヤル	無

※聴講・公開講座のお申込み・お問い合わせは、本学WEBサイトまたは生涯学習センター(0257-24-8441)までお願いします。

## 修学支援制度について

新潟産業大学は、経済的事情により修学が困難な学生に対し、授業料の半額を免除する制度を設けています。先行きの見えない不況下、勉強意欲がありながら、やむを得ず大学進学をあきらめるケースや、入学後も保護者の失業等で学業の継続について常に不安を持ち、修学に専念できない等のケースが、全国の大学で報告されています。本学では独自の支援制度を実施することにより大学進学や学業継続にかかる家計負担を軽減し、本学で修学する意欲を持つ学生をサポートしています。

対象者	学費負担者および家計を一にする家族(以下「学費負担者等」)の経済的理由により、修学が困難な学生。
申請要件 (年間所得の上限)	自宅通学者: 300万円程度以下 自宅外通学者: 350万円程度以下
軽減額	年間授業料(660,000円)の半額を免除(軽減期間は1年間)。 ※2年次以降は、審査により更新可。

修学支援制度に関するお問合せ先: 新潟産業大学入試課  
0120-787-124

## 出張講義の概要

新潟産業大学では、本学教員が高等学校等に出向いて講義を行う「出張講義」に積極的に対応しております。大学の専門分野を高校生向けに分かりやすく講義することにより、大学の「学び」を感じ取っていただくことができます。大学進学の意識(きっかけ)として、また進路選択の一環として、幅広く活用ください。出張講義のお申し込み・お問い合わせは0120-787-124(入試課直通)からお気軽にご連絡ください。

## Web上で本学のシラバスの検索と閲覧が可能です

本学ではWeb上で開講科目のシラバスを公開しています。シラバスは、授業科目の概要であり、15週にわたって開講される授業の各回の内容が予め示され、そこには到達目標や参考文献、評価方法等も明示されています。大学ではこれに沿って授業を進める事により、学生たちが学習の流れを理解したり、指導する教員がスムーズに学生を到達目標に導くことができるようになっていきます。

これを利用することにより、今年度本学で開講している授業科目について、学外から、学部・

学科・科目担当者・科目名・講義内容などの検索が可能です。

本学への入学を希望する高校生や、聴講講座の受講を検討されている市民の皆様もお気軽にご利用ください。Webシラバス閲覧システムへは左記のリンクからアクセスできます。  
<http://www.nsu.ac.jp/>

## 新潟産業大学 教育研究支援金のお申し込み

新潟産業大学では、教育研究活動全般の充実・発展を図るため、広くご寄付をお願いしております。いただきましたご寄付は、「地域社会や企業を主体的に支える人材の育成」という本学の教育理念の達成のために活用させていただきます。何卒、皆様の格別のご支援をお願い申し上げます。  
お申し込み上げます。  
(担当窓口) 新潟産業大学 総務課 0257-24-6955  
Mail: sounmu@ada.nsu.ac.jp

## 退職教員

〜ありがたい〜  
ごさいました〜  
経済学部 山根 智沙子 講師  
■ 専門分野: 金融論、理論経済学  
■ 主な学内職歴  
入試・広報・メディア情報処理委員

# オープンキャンパス

第1回 申込締切日 7月11日(水) **7/14(土)** 参加費 無料  
第2回 申込締切日 8月1日(水) **8/4(土)**

(選べる体験授業)  
・経済学 ・経営学 ・アグリビジネス ・文化産業

第3回 申込締切日 8月22日(水) **8/26(日)**  
第4回 申込締切日 9月19日(水) **9/22(土)**

(選べる体験授業)  
・経済学 ・経営学 ・文化産業 ・観光ビジネス

(選べる体験授業)  
・会計学 ・まちづくり

- 時間 / 10:30~15:00 (各回とも共通)
- 内容 / 大学・入試概要説明、キャンパスツアー、ランチ体験、フリータイム(進学相談等)、クラブ活動ビデオ上映、体験授業 など
- 対象 / 高校1~3年生および保護者
- お申込み / 上記申込締切日までに、電話・メール・FAX等で入試課へお申込みください。
- お問合せ / 新潟産業大学入試課

0120-787-124

Fax 0257-21-6050  
Web <http://www.nsu.ac.jp/>  
E-mail nyushi@ada.nsu.ac.jp

当日はJR新潟、燕三条、長岡、柏崎、高田、直江津の各駅から無料送迎バスを運行

## mini オープンキャンパス開催!

第1回 6/23(土) 申込締切日 6月20日(水)  
第2回 2013 3/23(土) 申込締切日 3月19日(水)

- 時間 / 10:30~12:20 (各回共通・昼食なし)
  - 対象 / 高校1~3年生および保護者
  - 内容 / 学部・学科説明、大学生活紹介ビデオ上映、入試概要説明、キャンパスツアー、進路相談 など
  - お申込み / 上記申込締切日までに、電話・メール等で入試課へお申込みください。
- ※送迎バスは運行いたしませんので、路線バスをご利用ください。また、ランチ体験・体験授業は実施いたしません。

平成 25 年度入試日程概要 (各学科共通)

入試区分	AO (第1期)	AO (第2期)	AO (第3期)	AO (第4期)	指定校推薦 (普通高校対象)・総合・専門高校対象	スポーツ・文化活動推薦	自己推薦
出願期間	(エントリー受付期間) H24.7/2(月)~8/8(水)	(エントリー受付期間) H24.8/9(木)~9/4(火)	(エントリー受付期間) H24.9/5(水)~11/22(木)	(エントリー受付期間) H24.11/26(月)~H25.2/22(金)	H24.10/22(月)~11/6(火)		
試験日	(最終面接) H24.9/8(土)	(最終面接) H24.9/29(土)	(最終面接) H24.12/15(土)	(最終面接) 個別に通知	H24.11/10(土)		
合格発表	H24.9/21(金)	H24.10/19(金)	H25.1/10(木)	個別に通知	H24.11/16(金)		
試験会場	最終面接は柏崎				柏崎		

入試区分	一般前期日程 (2科目方式)	センター利用 前期日程	一般後期日程 (2科目方式)	センター利用 後期日程
出願期間	H25.1/7(月)~1/29(火)	H25.1/7(月)~1/31(木)	H25.2/13(水)~3/15(金)	H25.2/13(水)~3/15(金)
試験日	H25.2/2(土)		H25.3/20(水)	
合格発表	H25.2/12(火)		H25.3/22(金)	H25.3/22(金)
試験会場	柏崎・新潟・富山・酒田・郡山		柏崎・新潟	

入試の詳細・大学院経済学研究科の入試については、2013入学試験要項でご確認ください。

学事日程 (平成 24 年 7 月 ~ 12 月)

平成 24 年度					
月	日	行事等	月	日	行事等
7月	1日(日)	ERE経済学検定	10月	6日(土)	転科試験
	16日(月)	海の日(授業日)		28日(日)	日本漢字能力検定
	17日(火)・18日(水)	補講日			
	30日(月)~8/3日(金)	春学期定期試験			
8月	6日(月)	試験予備日	11月	2日(金)	紅葉祭前日準備(休講日)
	10日(金)	追試験		3日(土)・4日(日)	紅葉祭
	16日(木)~31日(金)	集中講義		11日(日)	ハンブル能力検定
9月	9月上旬	国際文化研修 日本文化視察研修	12月	18日(日)	日商簿記検定
	3日(月)	卒業生発表		23日(金)	勤労感謝の日(授業日)
	7日(月)	再試験		25日(日)	中国語検定 経営学検定
	13日(木)	卒業生発表		28日(水)	H25 ゼミガイダンス(2年生対象)
	20日(木)	秋学期履修ガイダンス		2日(日)	ERE経済学検定
	21日(金)	成績表配付			24日(月)
21日(金)~27日(木)	秋学期授業開始				
	履修登録期間				
	28日(金)	9月卒業式			

表紙の写真

「第38回北信越学生空手道選手権大会 男子組手競技 決勝」

撮影者 星野 三喜夫  
経済学部教授 副学長・経済学部長



平成 24 年 5 月 20 日 (日) に本学体育館で開催されました。  
この大会で、経済学部 4 年の梅川達矢さんと小林匠さんが見事優勝と準優勝を飾りました。この写真は、2 人の決勝戦での対戦の様です。「連日の大会準備に正直みんなヘトヘトでした。その中での入賞に産大空手道部の強さを感じます。9 月の団体戦も、もちろん優勝を狙います。みなさま応援よろしくお願いします。 押忍」  
(空手道部顧問 宮路 早苗 (メディア・広報・企画課))

編集後記

「第6次産業」という言葉をご存知でしょうか。

これは、農業や水産業等の第1次産業従事者が、本来の「生産」の役割を担うだけでなく、その生産物の「加工」(第2次産業)や「流通」「販売」(第3次産業)に積極的に関わることによって、加工費や流通マージンを統合して生産者自身が利益を得る新しいビジネスモデルとして提唱されているもので、「1+2+3=6」あるいは「1×2×3=6」によって導かれる「6」の数字は、各次産業の連携による農村活性化の方策のキーワードを表しています。

今回の特集では、本学と地域との連携について取り上げました。

農業が重要な産業と位置づけられる新潟県に立地する本学が、自らの教育・研究資源をいかにして地域に還元できるか、これまで以上に貢献できるかを考えた時に、この第6次産業に対するアプローチには重要な意味があります。

経済学や経営学的な視野をもって取組み、マーケティングやIT等の知識を駆使して第1次産業の新たな発展に貢献する人材の育成が、「6」の数字を導くために今後地域社会に必要なピースとなることは想像に難くありません。

少子化と人口流出という共通の課題を持つ地域と地方大学にとって、問題解消のヒントはこのあたりに託されているのではないのでしょうか。

新潟産業大学 メディア・広報・企画課



青海波 (せいがいは)

雅楽の舞人の装束に用いられた波文様で、同心円状の波を前後左右交互に重ねた幾何学的な文様。

この文様の由来は遠くシルクロードまで遡るとされており、これを本学の校章(3つの波)に重ね合わせ、地域を知り世界を知ることの象徴として、本学の情報発信媒体である学報の名称に採用しました。

●発行日/平成 24 年 6 月 30 日

●編集・発行/新潟産業大学広報委員会

新潟県柏崎市軽井川4730番地 TEL 0257-24-6655 FAX 0257-22-1300